

京都府が進める「安心・安全で活力ある地域社会を目指した I C T 利活用」について

【関係省庁】内閣府 総務省

京都府では、安心・安全で活力ある地域社会を目指し、地域での I C T 利活用を加速するため、府内の I C T を活用した地域課題解決の取組みや、更なる利活用に必要となる環境整備に取り組んでいくこととしております。

つきましては、京都府内の先進的な取組等に対し、予算を重点配分いただきますよう要望します。

<総務省の概算要求>

■地域の「つながり力」を高める利用者本位の I C T 152.1 億円

- ・ N P O、地方公共団体等が主体となり地域の広域連携による遠隔医療、福祉、介護、防災、防犯などの分野における効果的・効率的な I C T 利活用を促進

■「光の道」100%の実現 31.3 億円

- ・「光の道」構想（2015 年頃を目途にすべての世帯でブロードバンドサービスを利用）を推進するため、行政・教育・医療等の公共アプリケーションによる利活用と一体となった超高速インフラ整備を行う地方公共団体等を支援

<京都府からの要望>

1 府内の I C T を活用した取組み

共通診察券の発行により、個人が管理する健康医療情報や、地域の医療資源等を効果的にマネジメントする仕組みの構築を、府内の N P O が主体となって進めており、これを政府の I T 戦略本部の「どこでも M Y 病院」構想の標準仕様として採用し、全国展開に向け継続して予算を重点配分してください。

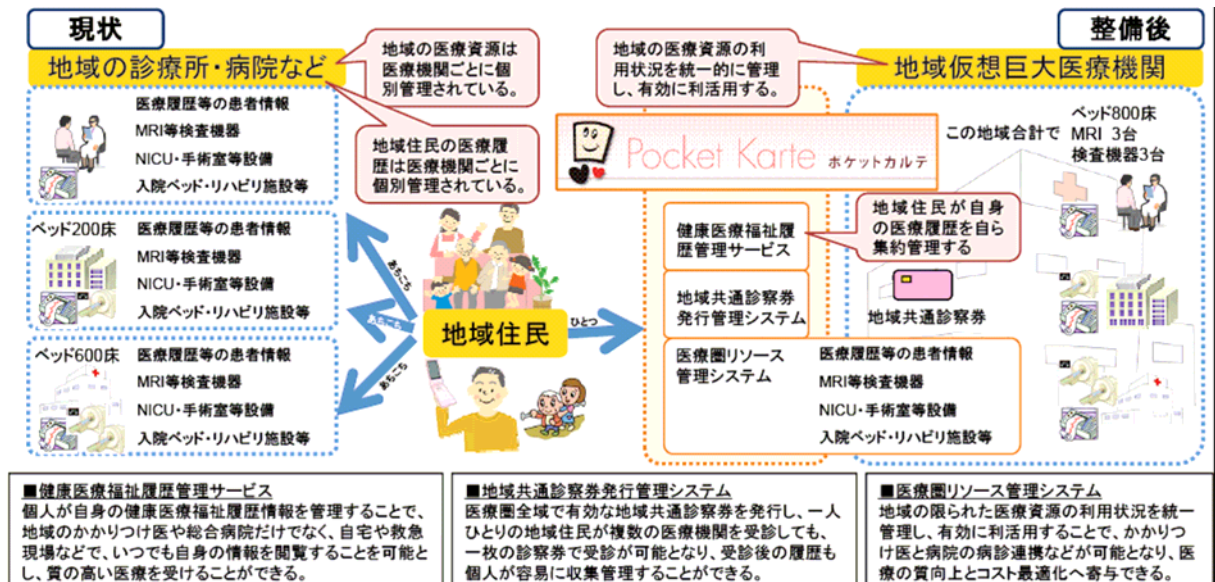
2 超高速ブロードバンド利用環境の整備

地理的条件等により超高速ブロードバンドの利用環境が未整備である南丹市（園部町地域）、和束町（全域）及び伊根町（全域）が行う超高速インフラ整備に対し予算を重点配分してください。

京都府の現状・課題等

○個人向け健康医療情報管理サービス「ポケットカルテ」事業（NPO法人日本ファミリーナブル・コミュニティ・センター）

・本年度、総務省「地域ICT利活用広域連携事業」による事業内容



※政府のIT戦略本部で検討が進められている「どこでもMY病院」構想でも取り上げられている。

○みんなの「ヒヤリ・ハット情報」見える化システム構築事業（京都府）

・本年度総務省「地域ICT利活用広域連携事業」により、スマートフォンなど最新の端末を活用し、防犯・交通安全などのヒヤリ・ハット情報を地域住民が自主的に登録・共有（閲覧）できる仕組みを構築予定

○超高速ブロードバンドの府内整備状況（平成22年10月現在）

・未整備地区：世帯数

| | |
|------------|-------------|
| 南丹市（園部町地域） | 6, 4 1 3 世帯 |
| 和束町（全域） | 1, 7 3 6 世帯 |
| 伊根町（全域） | 9 6 6 世帯 |

【京都府の担当部局】

政策企画部 調整課 075-414-4343